



平成29年度の教育計画作成にあたって…

校長 羽田野庸史

朝、正門で子供たちを迎えていると、もう正門脇の梅の花が白い花を付けていました。寒い、寒いと思っていたのですが、梅の花は春の到来を告げ、自然の摂理にあらためて驚かされました。

さて、今、学校では、今年度1年間の教育活動を振り返り、教育計画の見直しを図るとともに、来年度の教育計画の作成を行っているところです。その際、1月にご協力いただいた保護者の方からの学校アンケートや今月行われる学校評議員会の方の学校アンケートも参考にしながら、出された課題について、より広い視野から教職員で検討を加え、改善策を考え、新しい教育計画に反映させていきます。

教育計画の見直し・作成にあたっては、大抵は、相反する案があり、それぞれの案に長所と短所があります。長所しかない案であれば、誰も異論を挟む余地はありませんが、その多くは、長所と短所の両方を抱えているため、それらに検討を加え、どちらの案を採用するかを決める必要が出てきます。つまり、相反するAとBの案があるとき、Aという案にはAという案の長所と短所があり、Bという案にはBという案の長所と短所があるわけです。したがって、Aを選んでも、Bを選んでも、それぞれ短所を抱えているわけですから、Aの考えを主張する方にとっては、Bの短所が課題として映りますし、Bの考えを主張する方にとっては、Aの短所が課題として映るわけです。

いずれにしても、いつまでもお互いの課題を指摘し合っても意味がないわけですから、児童、保護者・地域、教員・学校といった視点から総合的に判断して、いちばん成果が期待できる案を採用し、教育計画を作成していくこととなります。

現在の東町小は、児童数・学級数の増加により、前年度、大幅に見直しを図った教育計画さえも次年度、そのまま適用できるわけではありません。毎年の教育計画の見直しだけでなく、新しい教育計画を作成せざるを得ないようなことも必要になってきます。そのような中、東町小の教育活動のさらなる充実・発展を図っていくためにも、保護者、地域の皆様のご理解とご協力・ご支援をよろしくお願いします。

2月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	水	安全指導	なし
2	木	体育朝会①	4~6
3	金	体育朝会②	2~6
4	土	日本文化の時間	なし
5	日		
6	月	委員会	4~6
7	火	International Assembly(34校時)	3~6
8	水		なし
9	木	児童集会 まなびの森交流(1年)	4~6
10	金	漢字検定	なし
11	土	建国記念の日	
12	日		
13	月		4~6
14	火		3~6
15	水	学校公開	なし
16	木	学校公開 道徳地区公開講座	4~6
17	金		2~6
18	土	日本文化の時間	なし
19	日		
20	月	クラブ(3年見学) ファミリー会議(5年中休み)	4~6
21	火	なわとび大会	3~6
22	水		なし
23	木	音楽朝会 避難訓練 新1年保護者会	4~6
24	金	クラブ発表(アンサンブル・アート・スポーツ)	2~6
25	土		
26	日		
27	月	委員会	4~6
28	火	障害者スポーツ理解体験学習(5年34校時)	3~6

2月の生活目標

生活指導主幹 三根 博喜



寒さに負けず運動に取り組もう

「椅子にしっかり座り、時間とともに体が崩れてしまわないためには？」姿勢の保持には、「体幹の筋力」と「小脳」の発達が必要です。小脳には「運動機能の調整」「運動の学習」「大脳の思考のコピー」という重要な役割があります。「自転車に乗れる」や「漢字が書ける」、「瞬間的な判断ができる」。これらは何度も失敗し、何度も挑戦するなかで小脳が働き記憶することで、無意識にできるようになるのです。この「体幹」と「小脳」を鍛えるのによいのが、太陽の下、外で元気に遊ぶことだそうです。太陽がまぶしい、風が冷たい、目や皮膚からたくさんの刺激を受けることで体幹と小脳が鍛えられていきます。寒さに負けず外で遊んで「体幹」と「小脳」を鍛えていきたいですね。